

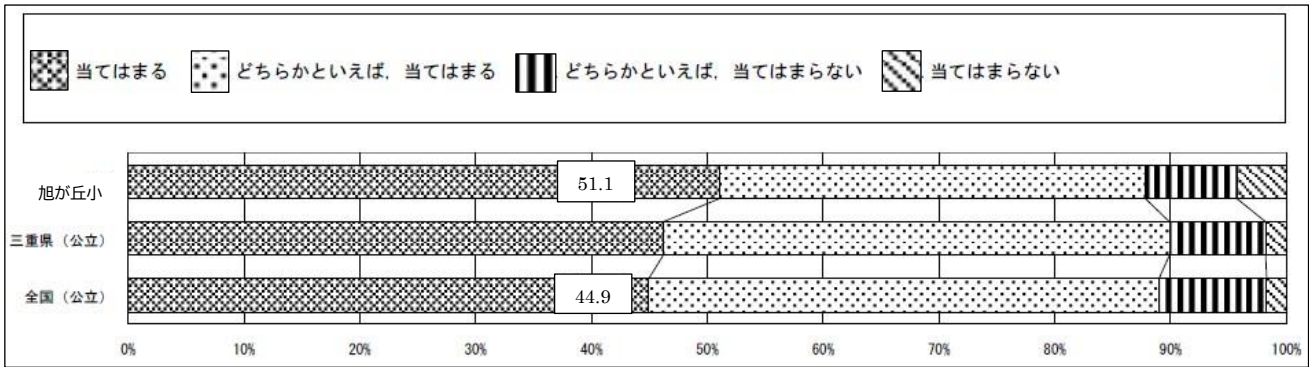


令和4年度 全国学力・学習状況調査結果(児童質問紙調査結果)について

学力調査は、教科に関する調査のほか、児童質問紙調査も行われます。質問紙調査は、生活習慣や学習への取り組み方などの質問に答えます。クロス分析によって、教科の正答率との間に相関関係が見られる項目もあります。以下は、本校の特徴的な結果です。

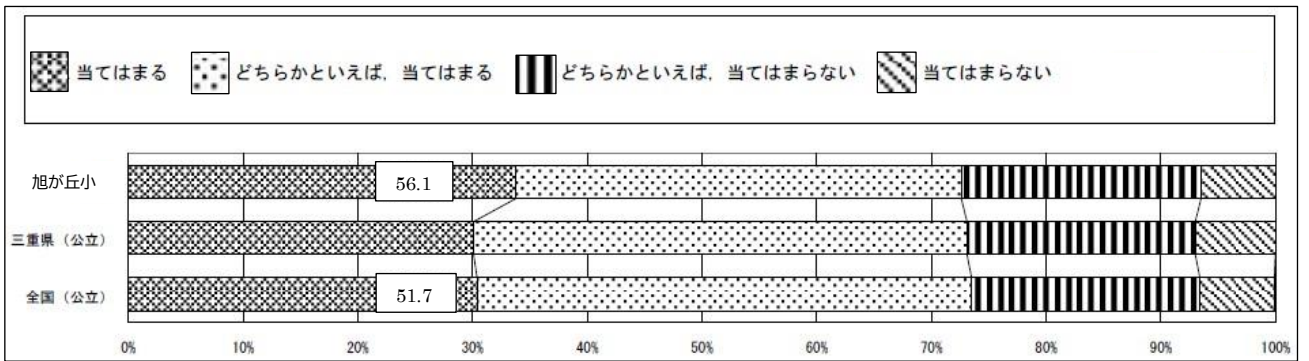
<全国と比べて肯定的な回答が高い割合となった項目>

○ 人が困っているときは、進んで助けていますか。



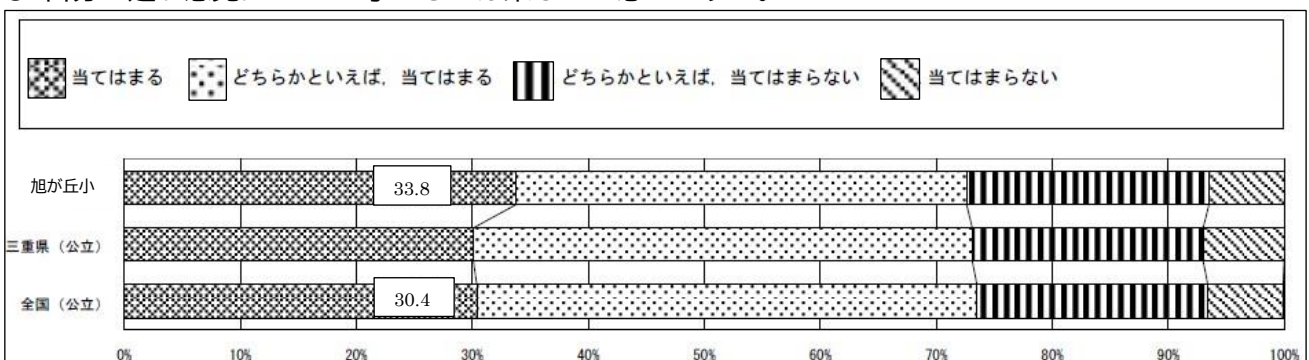
「当てはまる」と積極的肯定した児童の割合が高い。(全国比 +6.2)

○ 学校に行くのは楽しいと思えますか。



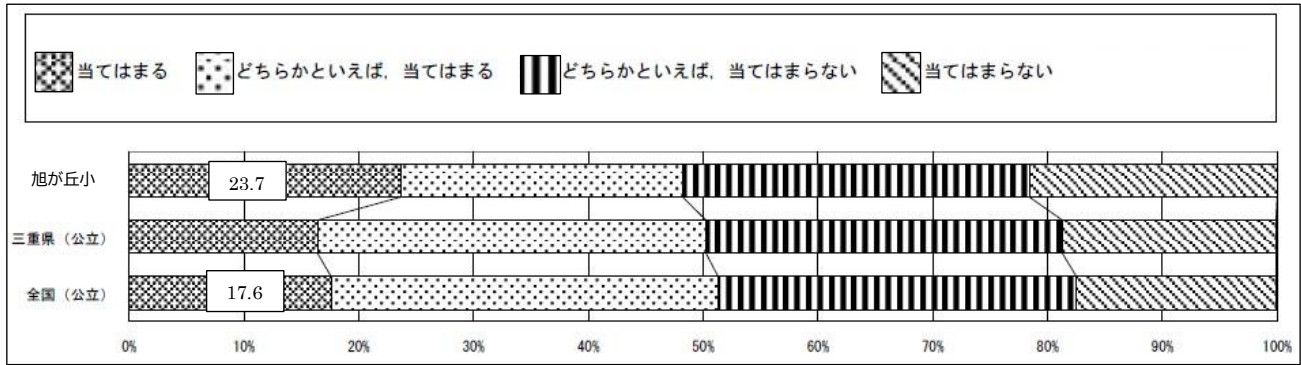
「当てはまる」と積極的肯定をした児童の割合が高い。(全国比 +4.4)

○ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思えますか。



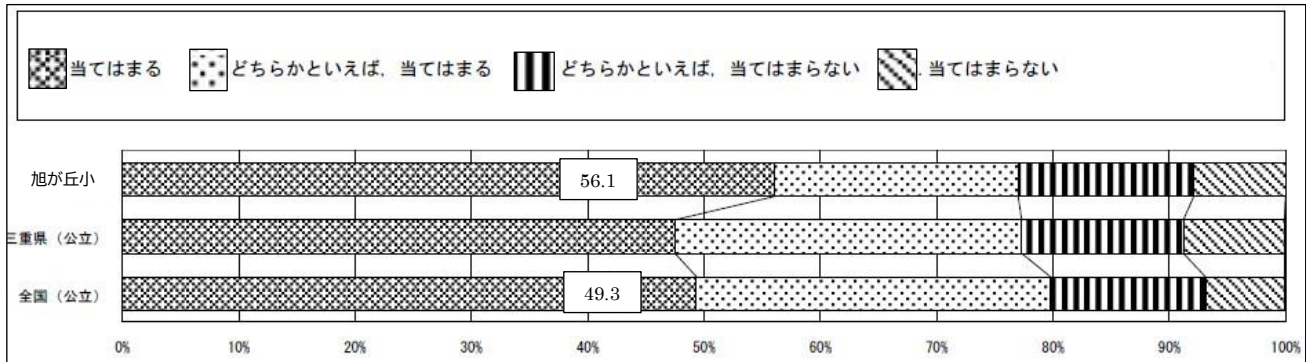
「当てはまる」と積極的肯定をした児童の割合が高い。(全国比 +3.4)

○ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。



「当てはまる」と積極的肯定をした児童の割合が高い。(全国比 +6.1)

○ 理科の勉強が好きですか。

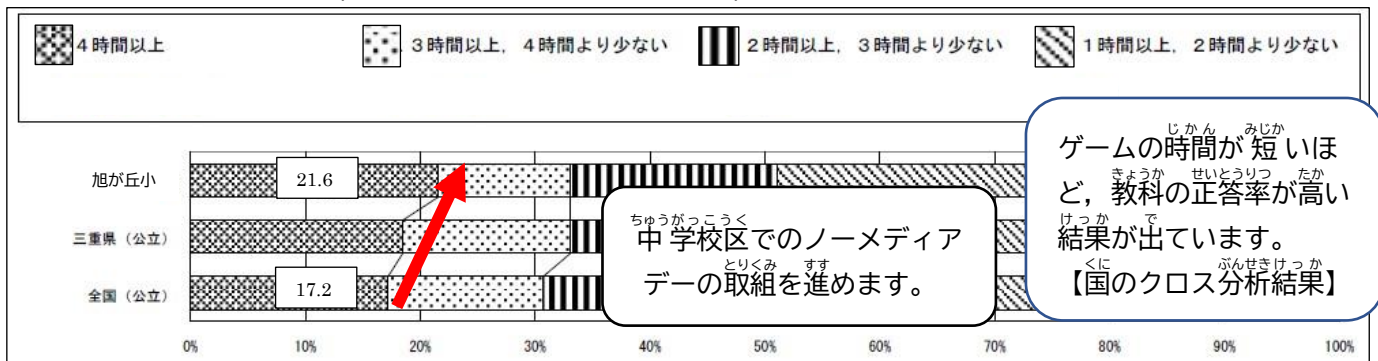


好きと回答した児童の割合が高い。(全国比 +6.8)

＜課題となった項目＞

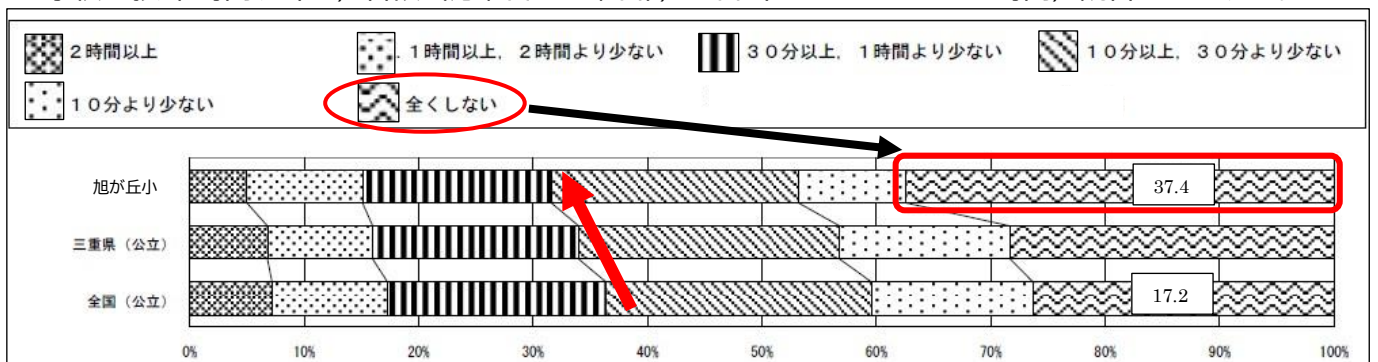
ゲームをする時間が長く、読書の時間が短い。平日に全く勉強しない児童も多い。

○ 普段 (月曜日～金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, テレビゲームをしますか。



2割以上の児童が、平日に毎日4時間以上ゲームをしています (全国より4.4ポイント高い)。

○ 学校の授業時間以外に、普段 (月曜日～金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, 読書をしますか。



全く読書しない鈴鹿市の児童の平均正答率 (国語) ..... 57.8% } クロス分析結果  
 毎日30分以上読書をする鈴鹿市の児童の平均正答率 ..... 68.2% } 国語以外の教科も  
 毎日2時間以上読書をする鈴鹿市の児童の平均正答率 ..... 70.1% } 同様の結果です。